

世界史B

B 西アジアは乾燥地帯で、砂漠や草原が広大な部分を占めている。ただ、ティグリス・ユーフラテス両河流域のメソポタミアや④地中海東岸、さらに各地のオアシスでは早くから農耕が行われ、都市も形成された。また、⑤西アジアは諸民族が次々に侵入して諸王朝が興亡した。一方、厳しい風土の中からユダヤ教・キリスト教・イスラーム教などの一神教が成立し、その後の歴史に多大の影響を及ぼしてきた。また、諸文明の接点として世界史上重要な舞台となった西アジアは、20世紀には豊富な石油資源の開発にともなって⑥国際情勢を左右する出来事が相次いで起こった。

問4 下線部④に関連して、前12世紀ごろからティルスやシドンを中心に地中海を舞台に海上交易に従事し、また表音文字を考案・使用したセム系の民族に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① アラム人 ② フェニキア人 ③ ヘブライ人 ④ アカイア人

問5 下線部⑤に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① シュメール人は、バビロン第1王朝を建て、メソポタミアを統一した。
② アッシリアの国王はファラオと呼ばれ、絶大な権力を行使した。
③ ヒッタイトは、オリエント世界ではじめて鉄器を使用した。
④ アケメネス朝ペルシアは、ユダ王国を滅ぼし、その住民の多くをバビロンに捕囚した。